

石尾根 [編集する](#)

2011 年 12 月 15 日 02:00 [友人の友人まで公開](#)

10 view



ここ最近の急激な冷え込みに、すっかり縮こまってる ww です🥶
奥多摩も雪が降ったのだろうか...🌨️

と山に想いを馳せつつ、話は 2 週間前に遡って、奥多摩の話🌄
(今思えば、ちょうどいいタイミングで行って来たかな。)

石尾根。

それは、雲取山頂から奥多摩駅まで続く、長～い尾根。

下りで使ったことはあったので、いつかは登ってみようと思っていた。今年はダイグラだって歩けたのだから、石尾根だって行けるはず!👊

【2011 年 11 月 26 日(土)】

今回は、前日に突如思い立ったプランで、バタバタと準備を始める👉 前夜は終電の 1 本前で立川まで移動し、ネットカフェで仮眠。翌朝、始発列車に乗り込むが...、暖房の効きが悪く、ぬくぬくできない🥵

そして、夜明け前の 6 時、奥多摩駅に到着🚆

冷える…。

そして、すぐにトイレに駆け込む…🚻



久々、奥多摩駅。

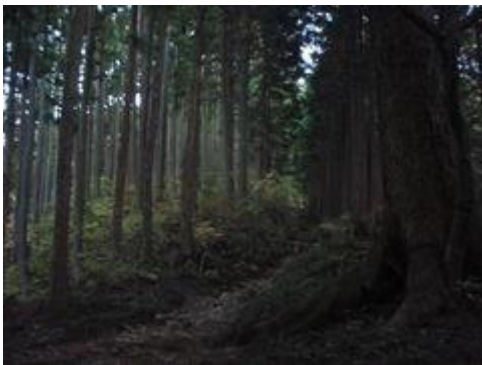
おなかの具合が不安になりながら、出発…😓

さて、しばらくは民家の路地裏を歩く。地図上では、ごく普通の道から登山道が延びているのだが、それらしき場所を実際に歩いてみると... 🐾🐾



特に標識はなかったのだが、これかなと思った山道に入ってみる。(写真の黄色い看板は、「猟師さん注意: 登山客がいます」という内容。)

ここ、一応道らしくはなっているのだが、かなり荒廃気味…。その道らしき道を 10 分くらい歩き続けると、



明らかにきれいな道に出くわす。(おそらく、羽黒三田神社の上あたり。) この登山道の入り口はどこにあ

ったのだろうか...💧💧💧

その後、再び車道に出てから、ようやくお出まし。



おそらくここが、石尾根登山口。ここに至るまでに、すでに 1 時間弱経過。今日はとにかくロングルートなので、もたもたしてはいられないっ!! 🍷

登り始めからしばらくは、



スギ林。おそらく植林されたものなのだろうが、これだけ整然と並んでいると、きれいな森だな～と思った✨

ちなみに、石尾根の登山道自体は、走れそうなくらい(!?)広くて明瞭!! 急登はあまりないのだが、階段状の地形でもないため、ダラダラと坂道を登り続ける、以後ずーっとそんな感じ💡

で、このスギ林を抜ければ、



落葉したため、視界は明るい。(これで標高 800m くらい) ここから先はずっと明るい登山道。やっぱり奥多摩は冬だね～!!👍



青空も映えます、映えます✨

9:00-9:15 六ツ石山分岐



こんな感じで、石尾根の登山道には、標識が至る所にあり。とてもよく整備されています💡

で、この時点で、コースタイムを 10 分しか稼げていないことに気づく。。。😓 このペースだと雲取までは厳しいのでは...、と早くもリタイアモード👇 日没が早いのも気がかりだし、行ける所まで行こうと目標を切り替え、気分転換に腹ごしらえ🍷🍕🍓

この休憩中、2 人の登山客に会う。

一人は学生で、雲取避難小屋で 1 泊の予定。

もう一人は、軽装備で日帰りの予定。(おそらく七ツ石山までを往復。)

石尾根は静かな登山道だけど、歩いている人は歩いているんだね🕊

さて、六ツ石山を過ぎれば。急な登りは少なくなり、縦走路らしく(!?)がrogan歩けた👣

さらに石尾根には、尾根沿いの登山道と巻道が並行しており、地図を見る限り、巻道を通ればほとんどアップダウンはない様子。しかし、でもそれもどうかnaoと思ひ、一応尾根沿いの登山道を歩くことにする👉



あとはひたすら歩く、歩く、歩く👣👣👣

10:15-10:30 水根山。

先程出会った学生もいたので、ここで一緒に休憩。ここでこの時間...、と考えると、今日の行程は七ツ石山までだと決める。行ったるでい💡

歩き始めて、南側をふと見れば、展望良好!





富士の山 🗻 🇯🇵

そして、

10:50 鷹ノ巣山



この辺りから、急に登山客が増える。鷹ノ巣山は、南側からも北側からも登ってこられるので、東西に延びる石尾根を使って登る人は少ないらしい。

せっかくの山頂だが、時間がないので、ちゃっちゃと通過 🏃‍♂️

11:05 鷹ノ巣避難小屋



中は立派。小屋の前の小広場には、ベンチとテーブルがあった。

この先も、尾根沿いルートと、巻道ルートの案内板がちよくちよく出てくる。(=巻道ルートに何度誘惑されたことか...💧)

しかし、尾根沿いルートと決めたからには!! 🍷

そして次に待っていたのは、2つの小ピーク、日陰名栗山 & 高丸山。両者とも高低差 100m 近くなのだが
...



写真じゃわかりにくいですが、久々に登場してきた急登。

前述したが、石尾根は全体的になだらかな地形なので、急にピークにさしかかって急な坂道が出てくると、きつい。しかも幅広い登山道だと、掴まる場所もないので...

つま先に力を入れて、かかとを浮かせて、登るのみ 🖐️

(→後日談、おそらくこのせいで、ふくらはぎの筋肉痛がいつもよりも3~4日は長引いたのである... 🤒)

こういう時、ストックがあれば便利なのかな、とも思ったり 💡



これは日陰名栗山から西側を撮ったもの。手前右が高丸山、その尾根沿いを左に行けば七ツ石山。さらにその先の尾根を右沿いに辿ると雲取山。それほどアップダウンはなさそう!?

高丸山を越えた先から、急に賑やかになる。雲取山を南側から目指す人のメインルートと言ってもよい鴨沢ルートに近づいた証拠。立ち止まって話した登山客からは、この辺りでは鴨沢ルートが最も明瞭だし、暗くなっても大丈夫だ、と教えてもらったので、ここを下山ルートに決定 😊

その後もてくてく登り、

12:45 七ツ石山。



よしっ、ラーメンタイム!! 🍜

と思ったのだが、



ここでふと遠方を見れば、雲取山がすぐそこに。。。

いや、決してすぐの距離ではないが、歩けないこともない気がしてきた。

しかし安全を考える自分もいる。ここで止めておけば、体力自体は腹八分目の気分。下りも無理なくいけるはず。

しかし、しかし、これ、行けちゃうんじゃない!?

と、ある種、人間の欲望は恐ろしいと感じながら、(さらには、次にいつ来れるかわからないという貧乏性的根性が湧き上がってくるのも感じながら、) えーい、自己責任だー、と自分に言い聞かせて出発 🍜

(ラーメンをおあずけにしたことだけが、唯一の心残り 🍜)



雲取までの縦走路。しかし、時間がないことも考え、若干急いで歩いたら💡❓

ばてたー!! 🏠 (最後の 30 分 💧💧)

おそらくエネルギー不足。身体の細胞が、ラーメンの恨みをはらそうとしていたに違いない。しかし、



避難小屋(=山頂)がはっきり見えるし、これはがんばるしかなく...

14:00 着いたー!!



ここですぐに座り込み...、ただ黙々と菓子パンと豆大福を食べる。

思考回路はほぼ停止。よく噛んで飲み込む。ただそれだけ。

達成感はあるが、満喫度の低い時間でした😅

その後、ようやく立ち上がる気になり、おなじみの看板まで歩き、



やっぱり、これを見ないと雲取を登った気にならない。



雲取山頂から見下ろした、本日歩いたルート。

そして、すぐに下山💧💧 すでに 14:20 であり、のんびりはしてられないのである👉

ちなみに下りのせいか、だんだん肌寒さを覚えて上着を着るが、そうすると今度は身体がポカポカして眠くなる(→本当に危なかった...🤯)。結局、登りと同じ薄手の長袖 1 枚が有効と判断💡

ところで、鴨沢ルートで下山した場合、鴨沢から奥多摩駅行きのバスは、

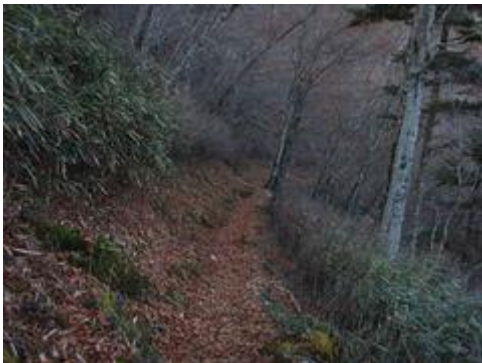
🚌時刻表: 16:48、18:50

である。体力も不安なので 18:50 を目標とし、余った時間でラーメンを食べよう、と思ったのだが、やはり日没が気になる...。となれば、

若干、トレイルランナーになる🏃⇒👉⇒👉⇒



鴨沢への分岐。これより下りのみ。急げー💦💦



鴨沢ルートは、石尾根ほどではないにしろ、長ーい、長ーい尾根。飽きてくるくらい、長い尾根。10年以上前に一度ここを歩いたことがあったことを思い出したが、当時の全く記憶にないのも笑えた。(おそらく当時も、この長さに嫌気をさして、無心で歩いていたのかも😓💧)

そして、周囲はどんどん薄暗くなっていくのだが、この時間帯で、まだ歩いているパーティーがたくさんいた。トータルで20人くらいは抜かしただろう。みんな、日没を覚悟の上で、ヘッドランプで歩く気なのか...😓

と、抜かせてもらった人のことが心配になったが、抜いてしまったものは仕方ない。あとは自己責任でお願いしますってことで、再び競歩🏃



晩秋。



そしてようやく、ほんとうにようやく、



16:25 駐車場。まだこんなに車が停まっていたとは!! 山頂で宿泊する人もいるだろうけど、あとは...!?

まあそれは置いて、さらにここから登山道を 10 分弱下り、アスファルトに出てからも 10 分弱下って...



16:43 間に合ったー!! ✨

もうくたくた。腹十二分目。リバースしそう。。。🤢

ああ、長い一日だった。

お疲れ様でしたー!! 🚗➡️

6:13 奥多摩駅

7:05 石尾根登山口

8:20 三ノ木戸分岐

9:00-9:15 六ツ石山分岐

10:15-10:30 水根山

10:50 鷹ノ巣山

11:05 鷹ノ巣山避難小屋

11:30 日陰名栗山

11:55 高丸山
12:45 セツ石山
13:15 奥多摩小屋(テン場)
14:00-14:20 雲取山
15:15 鴨沢ルートへの分岐(セツ石山付近)
15:45 堂所
16:25 登山口
16:43 鴨沢バス停

【🔥もえぎの湯 ¥750】

紅葉の時期だからか、入場制限していた。

整理券をもらって待つこと 10 分、入れたけれど、慌ただしく退散。

もっとも、露天に入っても外は真っ暗で、何も見えずでしたが💧💧

奥多摩、また来ようっと。

